



R3 第2回 学校運営協議会 7月14日(水) 午後2時～午後4時 多目的教室にて

(本当は、校長室でおこないたいのに、いつも傍聴者が多くて多目的室になってしまい少し、心苦しい気持ちになりますが
すごいのは、委員の皆さんの協議は、傍聴者が、居ようが居まいが発言がとっても積極的なところですよ。)

<内 容>

① 4～6月学校運営の振り返り(校長)

② 4～6月学校運営協議会の振り返りと今後の協議会活動について(坪池D)

- ・萩間明るい子どもを育てる会(地域学校協働本部)に関して
- ・相良中学校授業参観報告・「夏休み」寺子屋運営計画
- ・4～6月学校支援活動の振り返り
- ・大人の学び「清風園サロン」「地域生涯学習セミナー『萩間の里』」「ペンキ塗り方講習」
- ・「長期休業中学校図書地域貸出」「おさがり市(提案)」



③ その他

- ・正門付近の放棄茶畑利用について
- ・児童の登下校中の安全に関して
- ・アジサイの里計画
- ・開校150年祭について
- ・7～9月寺子屋はぎま計画
- ・CS ポロシャツ注文

<出席者> 学校運営協議会委員(校長、教頭、CS ディレクターを含む)、中村菅山小校長、市内小中教頭先生方、副市長、教育委員会(教育長、主席指導主事、社会教育係長、社会教育課主査、教育コーディネーター)

校長先生の4～6月の振り返りを聞き、子どもたちが地域を生かした多くの体験活動を行うことができていることが実感できました。この体験活動等は、地域学校協働本部として位置づけている萩間明るい子どもを育てる会があるからだということもわかりました。この組織も十数年をかけて育まれたもののようです。子どもたちの生き生きとした学びの姿を先生とボランティアの方と共有することを大切に、少しずつ育てたからだと思います。



さて、議題の中に相良中学校の授業参観の報告がありました。萩間小の子どもたちが中学校に行ってどんなふうに成長したかを参観したようです。中学生の落ち着いた生活、熱心に授業に取り組む姿勢に感心したという報告でした。中学生の姿を見ることは、どのように成長するかがはっきりするので、自分たちの考え方や活動の幅を広げるといいます。ぜひ、他の学校の学校運営協議会も参考にしてほしいなあとと思います。(萩間小の学校運営協議会では、次は相良中の学校運営協議会の傍聴を考えているようです。) もう一つ萩間小学校の特色として、「大人の学び」を運営協議会で計画しています。地域の大人が、楽しく学ぶ姿を子どもたちにも見せていこうという取組です。きっと子どもたちには、地域の大人たちが頼もしく見えるはずですよ。(平成28年山口県公立小中学校2,000人へのCSに関するアンケート調査で、「大人の学びをよく目にしている」と答えた1,500名の83%が「大人になったら、地域のために何かしたい」と答えています。)

さらに、寺子屋はぎまでは、夏休み中の子どもたちの課題をみてあげることが計画しており、地域の中学生、高校生、大学生も参加してくれるようです。

<副市長が、学校運営協議会を傍聴してくれました!!>

昨年度末には、モデル校(3校)を立ち上げて1年経過したところで、教育長に、勝間田小学校(モデル校)の学校運営協議会(CSの現場)を傍聴してもらいました。本年度は、準備会も含め、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが立ち上がりまして、副市長自身がPTA会長を経験している萩間小学校の学校運営協議会を傍聴してもらいました。「萩間小学校は、以前から子どもたちの体験活動や支援活動で、多くの地域の方が子どもたちに関わっていたけれど、それは学校からの依頼を受けて個人として関わっていた。この学校運営協議会ができたことで、学校の方針を理解し、学校を応援するために何ができるかを考える(議論し合う)場ができ、より積極的に子どもたちの学びに関わることができることが実感できた。」と感想を話してくれました。



実は、7月12日にも萩間小におじゃまさせていただきました。

川根本町もCSを立ち上げる ようで、川根本町教育委員会の方々とCSを担当する中川根第一小の石原校長先生、CSディレクターになられる方々、総勢7名で研修に来ました。研修の一環として、「CSの現場を視察したい」という依頼があり、モデル校の萩間小学校にお願いし、坪池CSディレクターに対応していただきました。川根本町でCSディレクターになる植田さんは、地域活性化を目指して活動している「かわねふるさと応援隊K i T e G o」代表。丸野さんは地域資源を生かした体験型ツーリング企画や環境学習、さらには移住定住相談までおこなう一般社団法人「エコティかわね」の事務局の方であり、やっぱり川根本町も「地域愛」を育むことがCS立ち上げへの思いなのかなと感じました。

私(教育コーディネーター)からは、立ち上げに向けて取り組んできたことを説明させていただきました。萩間小学校では、坪池CSディレクターから学校運営協議会として取り組んできたこと、地域学校協働本部としてコーディネートしてきたことを話していただきました。終始、川根本町の方々は萩間小学校の取組に大きくなすいていたのが印象的でした。当日は、学校運営協議会の中田委員さんも参加してくれていて、中田さんが「萩間小学校では、しょっちゅう地域の方が学校に来ていて子どもたちに関わっているけど、どの先生も私たちのことを知っていてくれ、会うたびに、どの先生も『ありがとうございます』って言うので私らも来やすいし、やりがいも感じる。そう言えば、地域の中でも、『学校へ行ってくれるだってね。孫が世話になってありがとうね。』と言われたりする。」と話されました。この言葉を聞いた時、先生方と学校支援していただいている方々が一緒に子どもたちを育てているなあ、さらには、地域の中で学校支援をしてくれた方々に感謝の会話が交わされていて、学校支援が地域の方にも理解されていると感じました。



背中
に込めた
地域
愛

<ちょっと、訪問して>



<勝間田小のお昼休みのお楽しみ>
勝間田小学校の先生が、聖火ランナーをつとめた「植田 大さん」と友達ということで、植田さんから、子どもたちに聖火ランナーをつとめて感じたことを話してもらったり、聖火トーチを持たせてもらったりと、そんな機会をスズッキーが、セッティングしてくれていました。楽しく、貴重な体験の場でした。



<ボランティア(応援隊)と一緒に>
川崎小の村上さんに会いに行くと、ちょうど授業参観日。たくさんの保護者の方が参加して下さり、駐車場へ案内するボランティアを応援団の方々と汗いっぱいかきながら行ってくださっていました。地味な活動ですが、先生方は子どもにつき、授業に集中できたはず。この日は午後、第2回学校運営協議会の日でもあり大変な一日でした。コミュニティルームにたくさんの「めだか」何するのかな？CS通信「南風」は読みどころ満載



<コミュニティルーム Good!>
川崎小の村上さんの所に行ったついでにアボなしで細江小を訪問。ここのCSルームは、とっても立ち寄りやすい場所にある。残念ながら江川CSディレクターは不在でしたが、コミュニティルームを覗いてびっくり。いつの間にか掲示がきれいに出来上がっていました。ホワイトボードには、体験活動計画が記入されており、楽しみになりました。また来ま〜す！